

仙台高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	卒業研究
科目基礎情報						
科目番号	0036		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 12		
開設学科	建築デザイン学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	12		
教科書/教材						
担当教員						
到達目標						
卒業論文においては、各テーマに応じて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめてプレゼンテーションできること。卒業設計においては、各自の問題提起をもとに創造的設計提案をする能力を身につけ、建築図面を完成できること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研究に対する姿勢	新しい知見を見出すことができる。		従来行われていることを、すべて習得することができる。		研究の背景や経緯などがわからない。	
プレゼンテーション	発表によって、他者と議論し、さらに内容を深めたり、新たなヒントを得ることができる。		研究したことを発表できる。		発表ができない。	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	前期は卒業研究として、卒業論文に取り組み、4年次の総合セミナーを発展させ、問題・課題に対する解明・究明方法を実施し、問題・課題の解明・究明を行う。 後期は卒業研究として、卒業設計に取り組み、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムの問題提起をもとに、解決策・創造的提案を実施する					
授業の進め方・方法	研究室ごとに活動する。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		2週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		3週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		4週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		5週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		6週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		7週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		8週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
	2ndQ	9週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		10週	1. テーマに応じて検討した問題・課題の解明・究明方法に基づいて、実験、調査、データ解析などを実施し、分析を通じて、問題・課題の解決策について検討する。		実験結果、調査結果、データ解析等の科学的分析ができる。	
		11週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。		教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。	
		12週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。		教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。	
		13週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。		教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。	

後期		14週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		15週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		16週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
	3rdQ	1週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		2週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		3週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		4週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		5週	2. 検討結果を受けて、研究の目的・方法・分析結果・考察・結論などをまとめる。	教員との議論をもとに研究成果を論文・梗概としてまとめ、聴衆の前で発表することができる。
		6週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		7週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		8週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
	4thQ	9週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		10週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		11週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		12週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		13週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		14週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		15週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。
		16週	3. 各自の問題提起をもとに、建築空間・都市空間が抱える空間形態や空間システムに対する解決策・創造的提案の基本構想をまとめる。	各自の問題提起を解決策・創造的提案に結びつけることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	30	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	30	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0